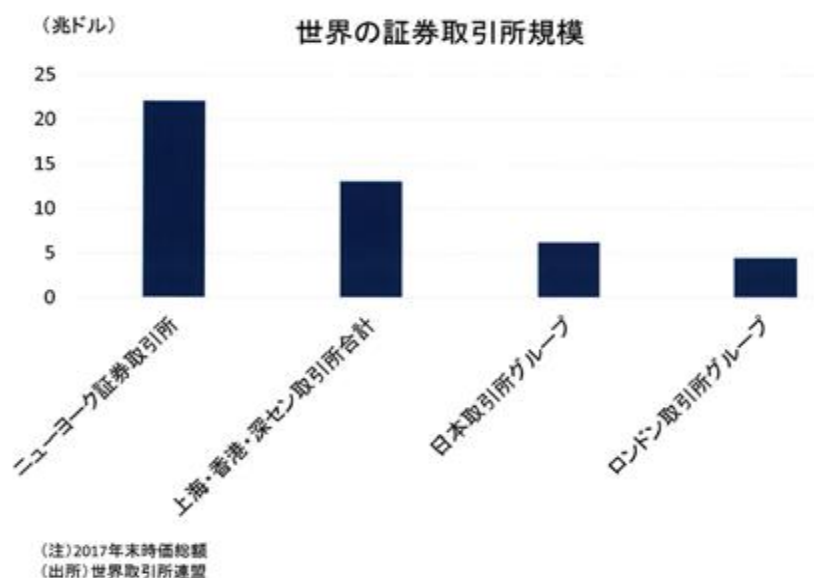


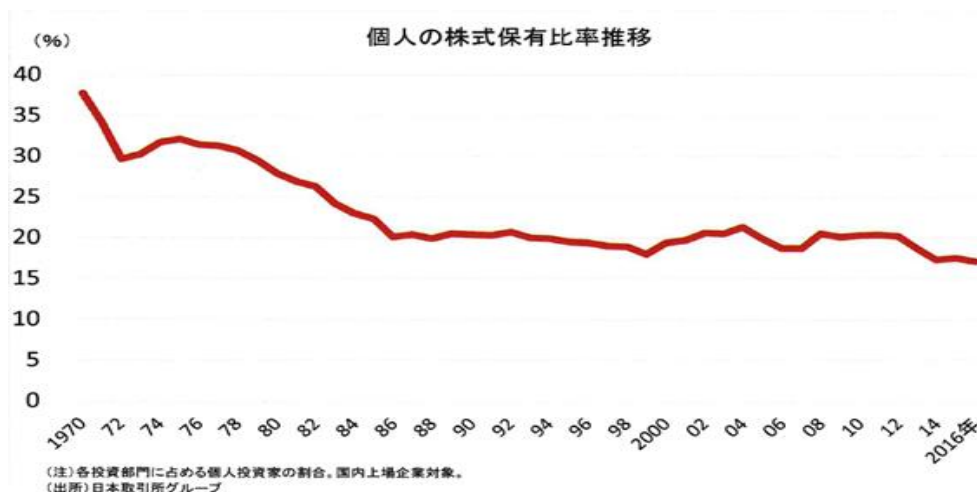
2018年2月吉日

政府の働き方改革に賛同し、 私たちは60歳以上の雇用を推進します。

「どこか株の専門家はいないか？」最近、投資家の皆さまの中にこのような嘆き節が聞こえてきます。ネット証券の台頭や失われた30年で、対面営業の証券会社でも株式は主力商品ではなくなってきました。その結果、ニューヨーク証券取引所に次いで2位だった東京株式市場（日本取引所グループ）の時価総額も大きく引き離され、中国と香港市場の時価総額を合計すると完全に東京市場（同）は水をあけられ、地盤沈下が顕著となってきております。



個人投資家のネット証券経由の売買が盛んだと言われても、全体でみる個人投資家の株式保有比率は伸び悩んでいます。個人投資家が株式市場に戻ってくるためには何が必要なのでしょう。



そんな中、昨年以降東京株式市場が大きく変化してきました。その動きは今年になって顕著で、日経平均はバブル崩壊以降の半値水準を突破、さらに立て続けに 24,000 円も突破し、実に 1991 年 11 月以来約 26 年ぶりの水準まで到達しました。



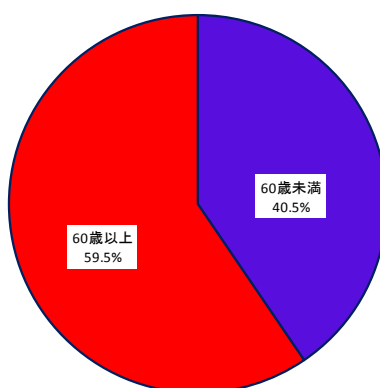
まさに株式投資の幕開けといった様相を呈してきましたが、残念ながら先ほど書いたように、個人投資家に活気がありません。それは売買動向を見てもはっきりしています。

2012 年以降アベノミクス相場で上昇がスタートした東京株式市場において、個人投資家は意外にも 6 年間売り越しを続けているのです。上昇相場に個人投資家を誘導できなかったのは、株式営業を軽視した証券会社の怠慢と言わざるを得ません。しかし言い訳をさせてもらえば、株式を熟知した証券マンが少ないのが現状です。

昔「証券こんにちは」との流行語が流行り、その後昭和 60 年代に向け一大株式ブームが起きました。これから東京株式市場はそんな、当時の証券マンの経験が必ず必要になると確信しております。

国民の金融資産の半数以上は 60 歳以上の方が保有しています。この方々も昭和の株式ブームを経験してきたことでしょうから、当時を経験した投資家と証券マンがタッグを組んで株式市場に戻ってくれば、東京市場もさらに火が付き、“ジャパンアズナンバーワン”の復活も夢ではありません。

金融資産保有割合



(注) 2014年の数値、日本銀行「資金循環統計」、総務省「消費実態調査より推計」
(出所) 財務省

昨今も大手銀行で50歳以上のリストラが発表される一方で、60歳以上の証券マン限定の、当時最前線で、幾多の修羅場を潜り抜けてきた生き字引のような証券マンを求めている当社のグループ証券会社もあります。当時の経験で花を咲かせる時代の到来です。

そこで、大手新聞に以下のような掲載をします。ささやかながら働き方改革に寄与したいという、私共の願いでもあります。

今回は **60歳**以上でないと入社できません
「チャンスは自ら創出し、激しく進化せよ」

■資格／60歳以上の熟成証券マン	■応募／郵送またはメールにて履歴書、職務経歴書をご送付ください。
■職種／営業(正社員・契約社員)	(E-Mail:info@news-sec.co.jp)
■待遇／経験・能力を考慮します	書類選考の上、通知いたします。(書類不返)
■勤務地／東京都	

アセアンの成長企業としてひた走る アセアン・フィナンシャル・HDグループ
ニュース証券株式会社

〒150-0011 東京都渋谷区東3-11-10 働き方改革推進室:相良、畑中 ☎0120-411-965

<お問い合わせ先>

■プレスリリースについてのお問い合わせ

アセアン・フィナンシャル・ホールディングス株式会社

ストラテジスト：長友 哲郎（ながとも てつろう）

E-mail：nagatomo@news-sec.co.jp

TEL：03-5468-5962

■採用に関するお問い合わせ

ニュース証券株式会社

働き方改革推進室：相良(さがら)・畑中 (はたなか)

E-mail：info@news-sec.co.jp

TEL：03-5466-1641